

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第236号



2026年6月19日発行

ホームページ メール

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail:lycoris06@jcom.home.ne.jp

☎090-1837-5347 〒239-0822 横須賀市浦賀6-8-1 田中気付



土建横須賀三浦支部 春の組織強化拡大月間

2026年の春の組織強化拡大月間は、2/1よりスタートし、各分会では拡大行動予定表を使い分会役員にいつの行動日に誰が参加するかを呼びかけました。

毎週水・木の拡大行動日には、今回もチョコレート等の訪問グッズを持って、仲間のもとを訪ね、仕事や暮らしの状況を聞きながら対話し、フォトコンテストや組合未加入の仲間への声掛け、役員の高齢化などによる役員不足の解消などの取り組みを進めました。

2/8 にいちご狩りバスツアー、2月3月と税金相談に取り組み、4/5 のサンデー行動では午前中に行動し、午後から終盤決起集会を行い約80名参加しました。

今月間では、26分会中6分会が目標を達成しました。拡大行動日の全日程を行動した皆勤賞が11分会、訪問対話では120件訪問120人対話をした野比分会、40件以上を訪問し40人以上対話した分会が10分会となりました。青年部は、今回は目標を達成することが出来ませんでしたが、パートナーの会は2月から炊き出しも行い、会員拡大でも奮闘し、超過達成して組合員を大きく励ました。シニアの会も目標を達成しました。

横須賀三浦地域労働学校に19人参加！

6/6（土）、文化会館にて、労働学校の第1回が開催され、19人が参加されました。

今回のテーマは、島崎藤村と「夜明け前」～明治維新とは何だったのか～。講師はいつもの、長野和範氏（元高校国語教師）です。

長野先生は、小説の舞台となった中山道の馬籠宿や、島崎藤村の一族について説明。島崎家が、三浦一族の末裔であった事などをお話しされました。

小説「夜明け前」は、文庫本4冊もの長編小説で、会話が少なくて字数が多く、表現も緻密

で読むのに骨が折れます。長野先生は、小説の概要を示して、全体像を理解しやすくし、その上で、街道筋の本陣・庄屋の役割や、明治維新の経過の中での主人公（藤村の父親がモデル）の事を解説してくれました。

小説自体は有名でも、読んだ事のある人は少なく、また、読んでも難解な部分も多いこの小説ですが、豊富な資料を駆使した講義で、皆納得して帰りました。

終了後は、恒例の市場食堂での反省会となりました。

舞鶴のヒューマンチェーンに2800名！

5/31（日）、トマホーク配備に反対する舞鶴の取り組みに、横須賀から9名が参加しました。

前日には、各地のミサイル配備に反対する運動の交流会が行われました。

東舞鶴駅に到着し、海に向かって歩いていくと、右翼の街宣車ががなりたて、街にはものものしい警官の警備が！ まるで5/29の汐入のようです。

11時半になると、平和の歌声が流れ、ほっとした気分。イージス艦は、弾薬庫の陰にかくれていました。写真は、総合文化会館の集会にて。

